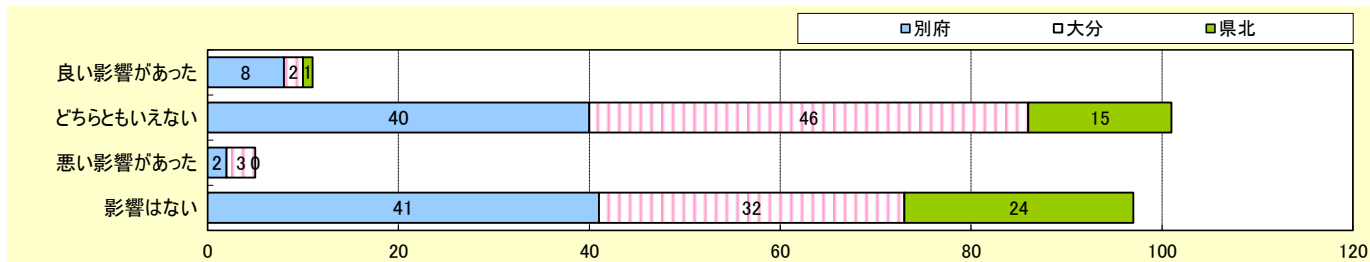


# 「アベノミクス」がもたらす中小企業への影響について

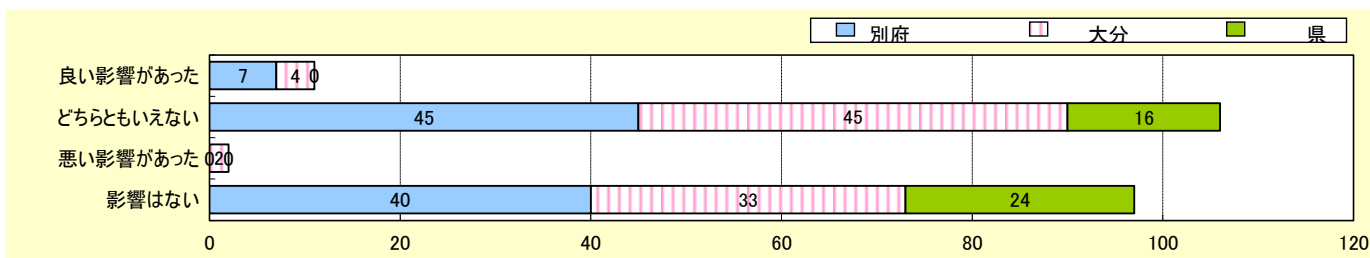
2013年7月～9月期 景気動向 特別調査 調査先216先

問1. 「アベノミクス」において「第1の矢」とされる「大胆な金融緩和(円高是正・量的緩和等)」は、貴社の業況にどのような影響を与えましたか。あてはまるものを次の1～4より1つお答えください。また、「第2の矢」とされる「機動的な財政政策(大規模な公共投資等)」は、貴社の業況にどのような影響を与えましたか。あてはまるものを次の5～8より1つお答え下さい。

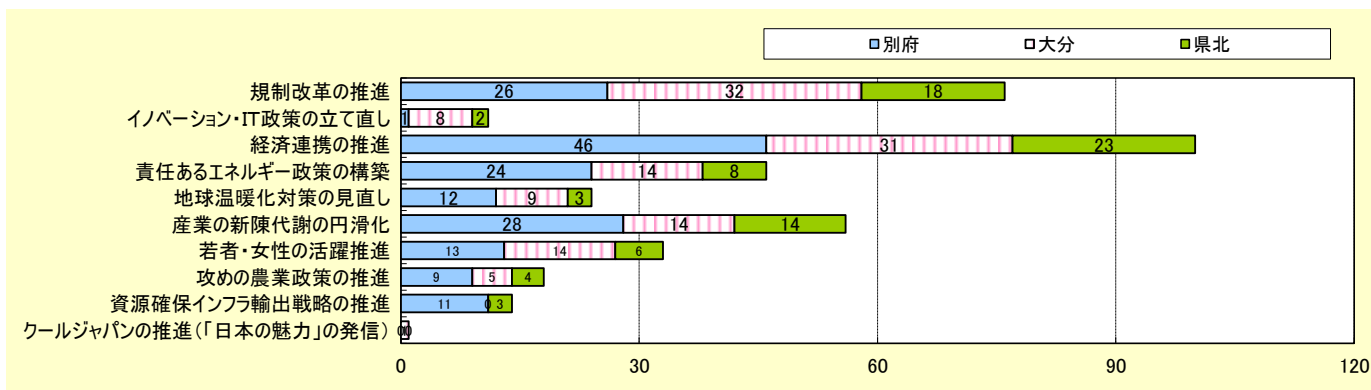
(第1の矢・金融緩和)



(第2の矢・財政政策)

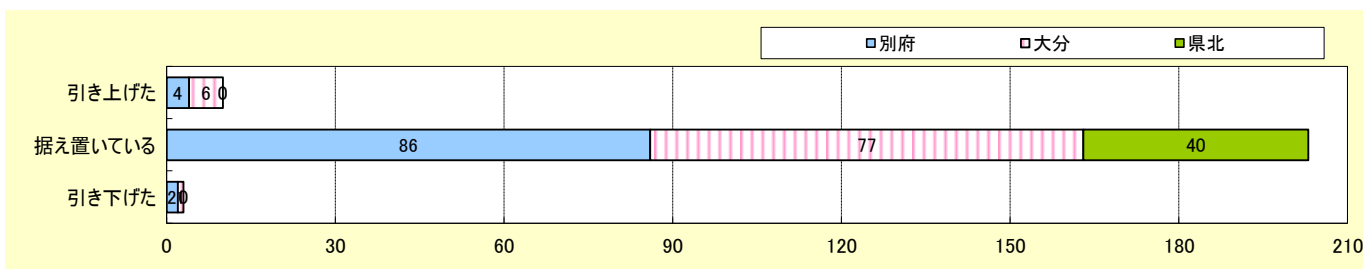


問2. 「アベノミクス」において「第3の矢」とされる「民間投資を喚起する成長戦略」について、どのような分野での成果を期待しますか。あてはまるものを次の1～9より最大3つまでお答え下さい。

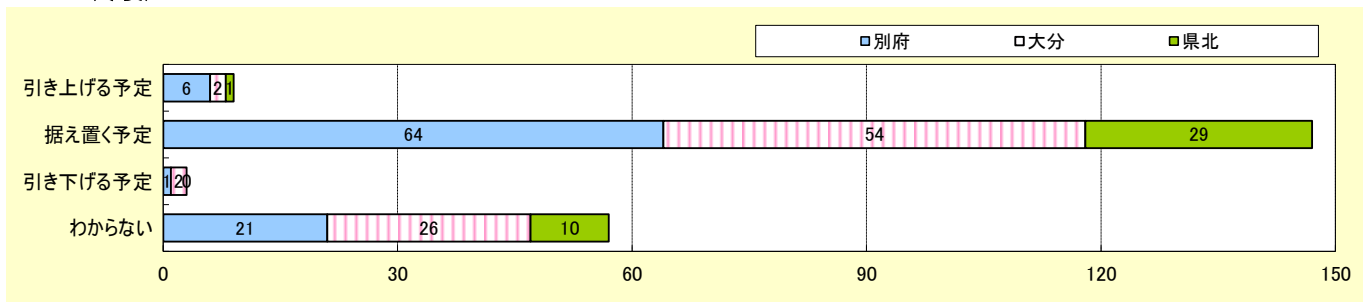


問3. 貴社では「アベノミクス」の流れの中で、賃金を引き上げましたか。あてはまるものを以下の1～3より1つお答えください。また、今後(1年以内)賃金を引き上げる予定はありますか。あてはまるものを以下の4～7より1つお答え下さい。

(現在)

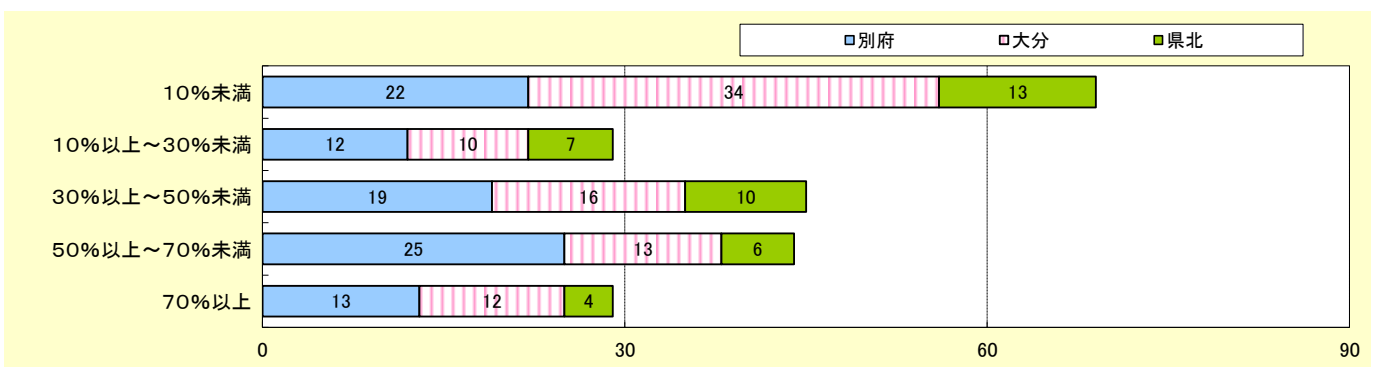


(今後)

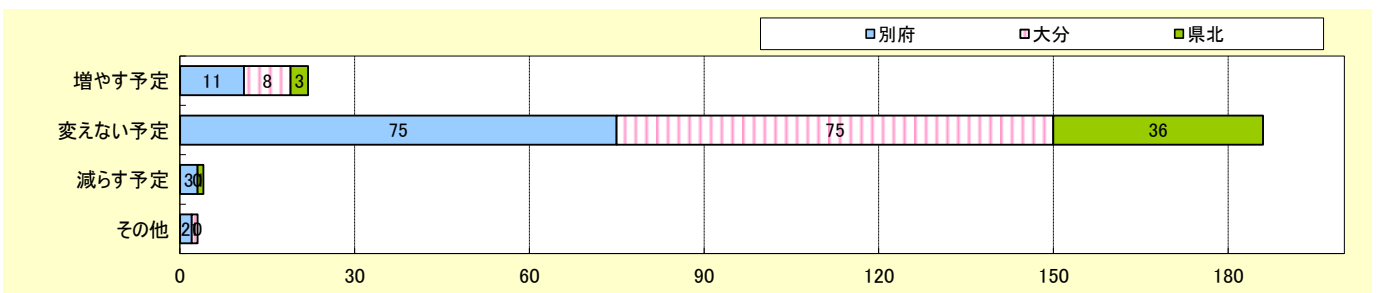


問4. 「アベノミクス」では女性の活躍推進が期待されていますが、貴社の従業員数に占める女性社員の割合はおよそどのくらいですか。あてはまるものを以下の1～5より1つお答え下さい。また、中期的(3～5年後)女性社員の雇用について、どのように対応する予定ですか。あてはまるものを以下の6～9より1つお答え下さい。

(割合)



(雇用)



問5. 貴社では、「アベノミクス」の流れの中で、設備投資を増やすとすれば、どのような内容が考えられますか。あてはまるものを以下の1～9より最大3つお答えください。

